



山梨県中巨摩（なかこま）支部結成集会（2023年7月7日）



No. 590

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

78年目の8・15終戦記念日 全国で大宣伝を！ 国賠署名と2万人の同盟を建設しよう

主 な 記 事

- 各県本部の大会・総会 …………… 2
- 私も一言／崎田和子 …………… 3
- 顕彰碑／村山俊太郎・ひで …………… 5
- 抵抗の群像／村本一生 …………… 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 …………… 7

秋田県、九州北部をはじめ記録的大雨に見舞われた被災者の皆さんに心からのお見舞いを申し上げます。

食料品値上げは7月3566品目、バブル崩壊以降記録的な値上げラッシュで、7月中に値上げは3万品目に到達します。6月の物価指数は電気代の値上げもあつて3・3%上昇しました。

岸田内閣の支持率が続落しています。共同通信（7月19日）の内閣支持率は34・3%で続落、内閣発足以来最低に近づいています。不支持率は48・6%。現行の健康保険証を来年秋には廃止してマイナンバーカードに一本化する方針に76・6%が延期や撤回を求めています。朝日新聞（7月15・16日）の内閣支持率37%は、6月調査の42%から2カ月連続下落。不支持率は50%です。マイナンバーをめぐる岸田内閣の対応を「評価しない」は68%、「評価する」の25%を大きく上回っています。

8月15日は、78回目の終戦記念日です。岸田政権は「敵基地攻撃能力の保有」をはじめ5年間で43兆円の大軍拡、さらに「防衛装備移転三原則」を見直し、「殺傷兵器」の輸出の拡大に向けた議論を加速させ「戦争する国」づくりを進めています。

「ふたたび戦争と暗黒政治許すな」、国民の暮らしと平和を守れの闘いを全国津々浦々から展開し、第41回全国大会めざし「1日も早く2万人の同盟建設」と国賠署名の自主目標を達成しましょう。

各県本部が大会・総会

岩手

知事・県議・市町議
選挙勝利に全力

この一年間、20数人の新会員を迎え、最高時の現勢を回復しました。全国大会目標は残り5人です。国会請願署名は達成率87%でした。コロナ前までのように目標の達成をめざそうと確認しました。



小〇の旗を掲げて勝利した三開伊一揆170周年にあたり、6月に公開学習会を行い、会員18人ほか22人の40人が参加。入会者がありました。県大会では、

全国レベルの問題ですが、存命の犠牲者がいなくなったなら国家賠償を求める請願や同盟の名称はどうなるのか、話題になりました。当面、8、9月の市町議・県議・知事選挙の勝利に全力をあげることを決めました。

牛山靖夫会長、田中館安子事務局長以下16人を選出しました。

(県本部会長・牛山靖夫)

秋田

学習と顕彰活動
同盟前進のカギ

7月14日、第34回定期総会を開きました。35(女性8)人の代議員が出席しました。

日本共産党県委員会、国民救済会県本部、県革新懇代表が来賓挨拶を述べました。

最上健造会長が「運動の継承と新たな前進のために」と題する「報告と提案」を行いました。とりわけ「学習と顕彰活動は前進のカギ」を強調しました。

会員以外の方を誘える学習会と顕彰活動、楽しくためになるフィールドワーク等の計画と実行を呼びかけました。犠牲者の家族2人の入会も紹介されました。

報告に基づき、12(女性2)人が発言しました。湯沢雄勝支部は「多喜二生誕地」や「花岡事件」を訪ねる一泊のフィールドワークを行い、大曲仙北支部、大館鹿角支部の仲間の協力を得て、学習と懇親会を成功させた経験を生きいきと発言しました。

最上健造会長、藤田精士事務局長を再選しました。

なお定期総会終了後、昨年死去

した「近江谷昭二郎名誉会長を偲ぶ会」を行いました。

(県本部会長・最上健造)

千葉

千代子上映・顕彰
最高の現勢で

第50回県本部総会が6月2日開催されました。開会挨拶で小松実会長は、「この1年、会員拡大、国会請願署名、犠牲者名簿の出版や映画『わが青春つきるとも』の上映運動、飯島喜美顕彰碑建立運動のスタートなど、県本部はめざましい活動を展開してきた」と述べました。

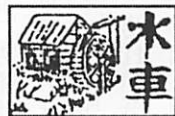


小松敦事務局長は、会員数は前総会より53人増の最高現勢561人で総会を迎え、次期総会

目標を650人に定めました。

請願署名も新日本婦人の会から約1600筆寄せられ、各支部が演説会場やリーダーなどで奮闘し、目標の6000筆を超える6800筆を国会に提出。署名の目標も8000筆に引き上げました。

(3ページにつづく)

6月下旬韓国の地域
医療を守る「社医連」

の関係者12人を神田神保町の「山宣終焉の地プレート」まで案内した▼山宣(山本宣治)の呼びかけで「無産者診療所」設立運動が開始され、全国の労働者・農民にカ

ンパが呼びかけられ、その後戦後の民医連に、韓国の組織にも繋がる。この組織は3年前にはハンダ版の山宣の本も出版した▼案内は、孔子を祀った湯島聖堂、道を隔てて現在の東京医科歯科大の地にあった昌平坂学問所・高等師範・女子高等師範、日本初の私立医学校「済生学舎跡」と一帯が官僚と医者で教師を養成する場所だったことを説明▼参加者は山宣の事前学習を経て来ており熱心で、道すがら「山宣が国会から遠いこの旅館を定宿にしたのはどうしてか」「儒教は明治時代以降どう信仰の対象になったのか」「日本の大学はどうしてこんなに敷地が狭く、緑が少ないのか」と鋭い質問が飛んだ▼山宣が東アジアに広がりつつあることを実感した。(永)

(2ページからつづく)

飯島喜美顕彰碑建立運動を6月2日の総会で提起し、短期間(7・18時点)の間に300人近い方から170万円を超える(目標300万円)募金が寄せられています。会長には小松実、事務局長には小松敦を再選しました。

(県本部事務局長・小松敦)

新潟

「再び戦争と暗黒政治を許さないために強大な同盟を

上映運動と結んで一日も早く会員2万人目標を達成しよう。『再び戦争と暗黒政治を許さない』政治

を実現するために奮闘しましょう」

とのメッセージが届きました。

野崎事務局長から、同盟の役割、

任務を再確認する。今大会までの

活動を総括し、教訓を明らかにす

る。「再び戦争と暗黒政治を許さ

ない」ために強大な同盟を築く。

6月末に独り朗読会で、谷崎潤一郎

なことを言って大丈夫!? 展開も。結局「初恋」

「検閲官」(大正10年)を読みました。

(実際の題名は「恋を知る頃」)は上演禁止となつたのです。この4年後治安維持法が成立。

作家Kが、戯曲「初恋」に不都合がある

と警視庁に呼び出される。担当は芸

術が判ると自負するT検閲官。湯上り

イカブルー敗れざる者たち」、もろに治安維持法の時代と取り組みま

の浴衣姿は

濃艶すぎる

表現の自由どころ

からもう1枚いや2枚着

せて、と思わず噴き出し

か思想そのもので死

たくなるようなやり取り

を経て、作品の根本思想、

刑可能な改悪治安維

作家の創造理念にも踏み込んだ改定要求が続く。

を止めなかった人々の想いが、行動が、サスペン

「役人として上からの指

スフルに、生き生きと甦るはず! 「安全保障状

示を守るのは当然の事、

況の変化」など何とも使い勝手の良い言葉で悪

首相がいいといつてもあ

法が次々成立する今、演劇という表現方法で何が

る方面から叱られる場合

できるのか、皆さまとともに歩み、学んでいこう

もある…」などと、T検

と思います。



関官、いや谷崎先生そん

(東京芸術座・俳優)

もろに治安維持法の時代

と取り組みます

さきたかすこ
崎田和子

持法の下、抗うこと

表現の自由どころ

か思想そのもので死

刑可能な改悪治安維

持法の下、抗うこと

表現の自由どころ

(東京芸術座・俳優)

群馬

自由民権を学び改めて憲法の素晴らしさを確認

6月18日、群馬県前橋市内で、

県本部総会と県立健康県民大学講

師の岩根承成氏の記念講演「群馬

の自由民権運動―上毛自由党と群

馬・秩父事件」が行われました。

総会では、会長の吉村駿一弁護

士と中央本部事務局次長の永島民

男氏があいさつ。長谷田直之事務

局長が22年度総括(案)と23年度

計画(案)、役員(案)を提案し、

承認されました。

吉村会長、長谷田事務局長を再

選しました。

記念講演で岩根氏は、国会開設

をめぐる動きのなかでの言論統制

に屈せず、県内の民権団体を集め

上毛自由党を結成、群馬事件・秩

父事件につながると指摘しました。

(県本部事務局長・長谷田直之)

(4ページにつづく)

大阪

2000人会員目標
署名2万筆達成



去る7

月9日、
第42回大
阪府本部
大会が開

催されました。大会には40数人が参加しました。開会に先立ちこの一年間に逝去された同盟員への黙祷が捧げられました。

初めに議長選出のち大石喜美恵府本部会長から情勢中心に開会あいさつがあり、引き続き宮本武志衆議院議員、続いて吉田万三中央本部会長から、今こそ国賠同盟の組織を強くし戦争前夜の日本の現状を打破しようと、力強い挨拶がありました。

佐野副会長から活動報告があり、2023年度は府本部の体制強化、支部を基軸とした課題

(3ページからつづく)

特別期間

会員拡大顕彰者

(追加分)

(10人以上1人)

【石川】尾西洋子
(5人以上 3人)

【山形】伊沢良治

【広島】岡本美咲子

【愛媛】小倉誠一郎

高知

映画「伊藤千代子」の
上映を全県で

第38回県本部総会

は7月15日平和資料館・草の家で開催しました。

この1年は「伊藤

の達成。とりわけ減少傾向にある「仲間ふやし」を一日も早く増勢に転じ2000人の会員数に回復する。「国会請願署名」

は国賠同盟の存在をかけた活動の証明でもあり、今年度は2000筆を目標として取り組む。

各支部からは8人の同盟員からの発言があり、自公に維新を加えた悪政4連合が数の力で悪法を強行採決する中、私たちの活動が今いかに大切か、戦争反対、主権在民を訴え「再び戦争と暗黒政治を許さない」ために活動していくことの重要性が語られました。

討議のまとめ、採択、特別決議に続き23年度会長に大石喜美恵、事務局長に甲斐富貴雄を再選しました。

(府本部事務局長・甲斐富貴雄)

千代子」上映会で4人の入会者を迎えるなど、今までに無い変化を感じています。アンケートも沢山戴きました。

上映箇所を高知市内2カ所に終わらせず郡部への働きかけを重視し全県での上映を考えています。

ただ組織の後退が続く現状はその変化を十分に活かし切れていないところが課題となっています。

総会は女性部として全国女性交流集会に若い世代を送る事、顕彰活動は犠牲者名簿に載っている獄死者2人の没後80周年の提案、署名数が少なかった事、地方議会意見書採択などが話されました。

青年部結成から6年、今年4月の一斉地方選挙で幹事2人が新人県議として活躍しています。総会方針を会員の総意として実現を目指します。

県本部役員は会長に岡村正弘、事務局長に森岡幸一を再選しました。

(県本部事務局長・森岡幸一)

特別期間会員拡大顕彰者から

同盟の存在を知ったのは、2017年に小松会長や元同僚が、職場まで訪ねてきて誘われたことでした。月1回の役員会に出てくれないかとの話に月1回ならと気軽に答え参加させていただきました。

毎月の会議では「なぜ今同盟が頑張らなければならないのか」の小松会長ミニ講座がとにかく楽しく、ためになる同盟活動に魅力を感じました。

どうやって会員拡大をしているのかと言えば、同盟の役割と魅力を署名の訴えをしながら、知り合いにとにかく声をかけることではないかと思えます。断られることも沢山あります。

月333円の会費をもったいないと思われないような活動にしていくながら何より会員拡大の鍵だと思います。千葉市支部の事務局長として楽しく、ためになる活動にするため微力ではありますが頑張ります。

(千葉市支部事務局長・渡邊代子)

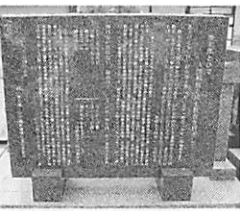
顕彰碑

探訪

『明けない夜はない』 人間解放と民主教育を目指して

村山俊太郎と妻ひでの顕彰碑(碑文全文)

村山俊太郎は 1905 (明治38) 年、福島県生まれ、間もなく父の生地山形県北村山郡山口村(現天童市)に転居。16歳で山口村尋常高等小学校の代用教員。28年山形師範専攻科を卒業し山形市の教員に。31年教育労働者組合を組織し治安維持法違反で検挙、免職。日刊山形の記者をしながら「北方性教育運動」をすすめる『生活童詩の理論と実践』を刊行。37年に復職、生活綴方の実践と膨大な諸論文を発表。40年生活綴方事件で再検挙、実刑2年6カ月。獄中で肺結核にかかり服役を延期。戦後に職場復帰。日本共産党に入



党、教員組合を結成、山形県教組副委員長として労働条件の改善、民主教育の確

立、二・一ストの指導に全力。病氣悪化で48年死去。43歳。
村山(荒木)ひでは、1908 (明治41) 年、山形県北村山郡東根町(現東根市)に生まれる。27年女子師範学校を卒業し小学校教員。33年免職中の俊太郎と結婚。俊太郎弾圧の中でも教師をつづけ5人の子どもを育てる。戦後教員組合に婦人部をつくり、女性教師の地位向上や民主教育を実践。
俊太郎死の翌49年10月、レツド・ページで失職。教員組合書記、日本共産党東根市議、母親運動の発展に貢献。69年俊太郎とひでの歩みを『明けない夜はない』を出版、感動を与える。その後も多くの著書を発表する。2001年死去。92歳
【交通】山形県天童市山口2400 来運寺墓地内JR天童駅より車で約15分。

新基地建設をすすめる 岸田首相に満身の怒りを もって抗議する

沖縄県本部会長 村山純

6月23日、沖縄は78年目の「慰霊の日」をむかえた。4人に1人の県民が亡くなった沖縄戦で組織的戦闘が終わった日である。

糸満市摩文仁の「平和の礎(いしじ)」(写真)の刻銘総数は24万2046人になった。

「戦争をおこすのは、たしかに人間です。しかし、それ以上に戦争を許さない努力のできるのも、私たち人間ではないでしょうか」、「礎」をみおろす「県平和資料館」の壁にはこの言葉が刻まれている。

県内各

「苛烈な地上戦の記憶と相まって、県民の間に大きな不安を生じている」と強調し、「対話による平和外交」の重要性を訴えた。

ところが岸田首相はどうか。

「式典あいさつ」のなかで「国の安全保障環境は戦後最も厳しい、南西諸島の防衛体制の強化が必要」などと述べた。

我々は、岸田政権がアメリカに追随し南西諸島に自衛隊のミサイル部隊を配置、そして辺野古への新基地建設をすすめていることに満身の怒りをもって抗議する。

昨年11月から取り組んだ「辺野古新基地建設断念をもとめる請願署名」は56万余筆が集まったが、政府は審議もせず門前払いをするという暴挙をおこなった。

県民は「勝つためにはあきらめないこと。屈せず闘いぬこう」「戦没者の遺骨がはいった土砂で基地をつくるな」「県民の4人に1人が犠牲になったあの沖縄戦をくりかえさせるな」と、全国とも連帯しながら闘かう決意を固めている。



地で「慰霊祭」がおこなわれ、玉城デニー知事は「平和宣言」で、安保3文書が

抵抗の群像



灯台社信者 信仰を守り軍で銃器
を返上し、殺傷を拒否

むらもと かずお
村本 一生

村本一生は、1914(大正3)

年3月、熊本県阿蘇郡赤水村(現・阿蘇市)に生まれる。幼少から成績優秀で、熊本市内の熊本中学、第五高等学校(五高)を経て東京工業大学に進学。大学の休暇で帰省中に、日本灯台社の機関誌『黄金時代』を読んで感銘をうけ、直ちに日本代表の明石順三と連絡をとって入会。1936(昭和11)

年3月、灯台社事務所所属した。この年の2月には、陸軍の皇道派青年将校率いる1400人の下士官兵が首相官邸などを襲撃し、斎藤實内大臣、高橋是清蔵相らを殺害するクーデター(2・26事件)がおこるなど世情騒然としたなかであつたが、村本は5月ころから、先輩の大江頼一らと最初の地方伝道へ。自転車で高山―長野―小仏峠―東京を数ヶ月間かけ、野宿同然の厳しい旅であつた。翌19

37(昭和12)年12月から第2回目の伝道旅行を行い、横浜から静岡―三重―和歌山―兵庫―鳥取―島根を回った。

ノモンハン事件で部隊は全滅するも難を逃れる

1938(昭和13)年、3回目の伝道旅行中、北海道で召集令状を受け取り、熊本第6師団第13連隊に入隊し、直ちに満州に送られた。だが、間もなく神奈川県相模原の陸軍工科学校に技術下士官として派遣される。工科学校への派遣は3カ月の予定であつたがその間に、満州とモンゴルとの国境付近のノモンハンで日ソ両軍による大規模な国境紛争(ノモンハン事件・1939年5月〜9月)が勃発し、村本が所属していた部隊を含む日本の満州派遣軍はほぼ全滅したが村本は難を逃れた。

その間、1939(昭和14)年

1月、同期の信者仲間が隊内で武器返納を申し出て憲兵隊に逮捕されたことを知った村本は、兵営を脱走するが、明石順三に止められて隊に戻り、罰として3日間の「軽営倉」(軍隊内の留置場)入りとなつた。

銃器返納申し出で軍法会議にかけられ懲役2年

釈放後今度は、銃器返納を申し出て、直ちに憲兵隊に送られ、陸軍刑務所に収監、軍法会議で、懲役2年の刑を言い渡された。

1939(昭和14)年6月21日、灯台社本部は武装警官隊に襲われて一斉に検挙され、日本各地の活動家、信者らも一斉に検挙された。懲役2年の刑で陸軍刑務所に服役中であつた村本は思想と信条を書かされ、「シナ(日華)事変の真相」という手記を提出した。その中で村本は、ナチスやファシストを批判したと言われるが、それは司法省刑事局に送られ、灯台社の思想資料とされた。

1940(昭和15)年2月11日、刑務所で「紀元節」の祝賀で、村本は宮城遥拝を拒否し、殴打され

る。その後、監禁、減食処分、戸外運動禁止が2カ月続いた。同年7月から信者活動家たちへの監視庁の取り調べが始まり、全国で40数名が起訴された。同年8月、内務大臣は灯台社に、治安警察法第8条により「強制閉鎖」を命令した。

さらに1941(昭和16)年の治安維持法大改悪で、治安維持法を宗教団体に適用するために「団体の否定」が追加され、陸軍刑務所を満期で出獄していた村本は、他の数人とともに灯台社再建容疑で検挙され、1943(昭和18)年3月、懲役5年の判決をうけてふたたび収監された。

1945(昭和20)年8月敗戦により、10月釈放され、1985(昭和60)年死去。なお灯台社は1947(昭和22)年、アメリカの本部から除名され消滅した。(『改訂・地下水、その噴き出するを願つて―熊本の治安維持法犠牲者、その名簿と足跡―』より一部修正、転載)

(小田憲郎熊本本部長)

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

ホームにも七夕竿が立てられて「軍拡より福祉を」

と書く九十五歳

大分県 渡辺 幹生

八月の雲の墓標に亡父の声二度と戦はしてはならぬ

岩手県 牛山 靖夫

削る日々今日の体調うかがいつつ進まぬ雑用のこし

大分県 丸尾 ことよ

マスメディア大軍拡を遣り過ごす行く着く先に戦あ

埼玉県 福家 駿吉

無名なる人らがつづる体験記伝える戦争反対の声

埼玉県 白川 洋子

原発の施設を破壊せんというプーチンのはもはや人には非ず

岐阜県 和田 昌三

一〇一年となりしこの党創立を噛みしめいたり変革めざし

岩手県 小杉 正夫

「新しい戦前」の危機日々暮る国賠同盟の署名を今こそ

岐阜県 田中 良

7月の月命日は誕生日祝いも兼ねて線香多め

沖縄県 塩田 伸子

八十五歳冒険と擲擧されし慰霊済ませしベトナムの旅

兵庫県 岸本 守

〈選のあとに〉渡辺作品の上句、とくに「七夕竿」が現実感を生み出しており、一首のキーワードとなっている。片山作品の「雲の墓標」は亡父を追悼する表象として深く、また拡がりをもつて、一首を支える。丸尾作品の第一句「削る日々」は生活実感がこもっており痛切である。

俳句

望月たけし選

核許さぬ無辜の遺言ひまわりに

東京都

岡崎たかね

向日葵さん招いておくれ和平の使者

三重県

橋本しげる

老鷲や「ホーオオタニ」に我も古稀

埼玉県

大野 辰男

戦前だああ戦前だ夏が来た

兵庫県

岸本 守

緑陰や「多数合意」の語らいが

神奈川県

天野三葉子

〈評〉種子から食用油をとるため収穫、出荷されてきたウクライナの向日葵。一句目、二句目は、それをそれぞれの思いで。天野句の「多数合意」は大切にしなければならないこと。

川柳

鈴木いさお選

悔恨の八月蟬の声沁みる

埼玉県

福家 駿吉

〈評〉六日広島、九日長崎、そして十五日終戦。今年もまた悔恨の八月がめぐり来る。奪われた生命を悼む蟬しぐれが心に沁みる。

沖縄をまた盾にして基地増やす

北海道

三隅 雅游

黒い雨戦犯恩給80兆

大阪府

堺谷九条男

軍事費を倍増次は徴兵制

大阪府

佐々木雅博

沖縄の基地増強で戦火呼ぶ

東京都

稲邑 明也

映画『わが青春につきるとも』

—伊藤千代子—上映コーナー

平和の基礎体力創りに貢献

—会場にひびくエール

■小豆島で有権者

2000人に1人が鑑賞

7月16日開催の香川県小豆島会場には、島内2町から110人余が参加。会場には、立憲、無所属の議員も参加、感動を書き綴った感想文57人、熱気に包まれました。

■第3次上映運動を

成功させましょう

「上映債権無し」でも上映は可能

①アンコール上映や字幕版による

再上映の実

現②複数自

治体での巡

回上映がで

きます。

詳しくは、

全国の会へ

☎090-

4527-

1129



満員の山梨県都留市学習会

8月15日
78回目の
終戦
記念日

ふたたび戦争と暗黒政治を許さない

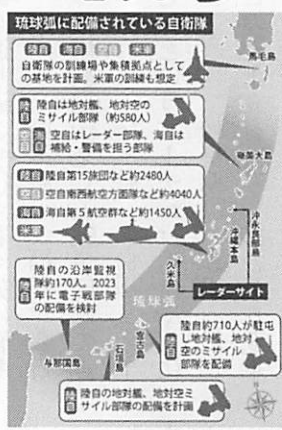
今こそ、戦争Noの声を!

43兆円の大軍拡を許さない

政府は、昨年末に「安保3文書」を国会の審議を経ずに閣議決定しました。自衛隊に「敵基地攻撃能力」を持たせ、今後5年間で防衛費をこれまでの2倍、43兆円にまで増やします。

憲法9条で平和を守れ

馬毛島から与那国島までの琉球弧への自衛隊と米軍基地の強化。全国の自衛隊基地司令部の地下化が急速に進んでいます。これらの事実が、攻撃目標となることを想定したものです。憲法9条は戦争の放棄と「専守防衛」で平和を守ってきた。戦後78年間、戦死者を一人も出していません。



【沖縄タイムス】 2021.12.13

核兵器禁止条約に参加を

署名92カ国・批准68カ国

核兵器禁止条約は、国連加盟国の3分の2を超える92カ国が賛成して2017年に発効。7月7日現在、68カ国が批准しています。

659地方議会が意見書採択

「日本が核兵器禁止条約へ参加するように」とする意見書を7月7日現在、全国1788地方議会のうち37%にあたる659議会が採択しました。岩手県では、県及び19の全市町村議会が意見書を採択しました。

「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」とは

戦前、戦争に反対し平和と民主主義を求める多くの人が「治安維持法」で弾圧されました。その数は、数十万人に及び、うち警察、刑務所などで93人が虐殺され戦死者は400人以上です。政府はいまだに犠牲者への謝罪も賠償もしていません。私たちは、毎年「ふたたび戦争と暗黒政治を許さず」と、政府に侵略戦争を反省し、犠牲者の名誉回復と国家賠償を求めて国会請願をしています。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働会館内
Email: chian@bz03.plala.or.jp TEL: 03-5842-6461 FAX: 03-5842-6462

8・15ピラ見本

今年の全国女性交流集会は愛知で開催

今年の全国女性交流集会は愛知県蒲郡市で開催されます。

『新しい戦前にしない』運動を大きく広げ、集まりましょう。

第32回全国女性交流集会

日時・10月29日(日) 30日(月)

会場・蒲郡温泉郷 ホテル竹島

記念講演

半田滋さん(防衛ジャーナリスト)

【訂正】本紙前号「国会請願紹介議員」は、衆院立憲民主党の大石あきこははいわ新撰組に移動。参院社民党は、福島みずほ、大椿ゆうこ。沖縄の風は、伊波洋一、高良鉄美。無所属は、寺田静、永江孝子、に訂正します。(敬称は略)

事務局日誌

7月2日 滋賀県本部総会

7月7日 編集会議

7月8・9日 日本国民救援会第61回全国大会

7月9日 大阪府本部大会

7月9・10日 長野県本部総会

7月14日 8・15ピラ検討会

7月25日 全労連会館運営委員会

同日 安保破壊実行委員会内閣府要請

7月26日 会長・事務局会議

7月27日 日本母親大会実行委員会

2023年春季号 (45号)

『治安維持法と現代』

好評発売中



【巻頭論文】「安保3文書」に意図する軍拡「戦争する国」づくり—岸田政権の危うさ=清水雅彦、憲法を踏みにじって戦争準備にひた走る岸田政権を許さず=小林節、鈴木安蔵の精神—憲法9条を守る意義=金子勝、安保3文書と軍拡の危険性=川田忠明、日本近現代史における軍拡・増税と今=大日方純夫、安保3文書に立ち向かい、平和への展望をひらく学びをどうつくるか=石山久夫、【文化】考古学者・戸沢充則の仕事=勅使河原彰、多喜二文学の拡がり=荻野富士夫、生物学者山宣は戦争にいかに向き合ったか=永島民男、治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める請願の22年度紹介議員一覧

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。